

令和2年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラスキッズ中野ルーム

集計日: 令和 2年11月25日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	保護者がトレーニング風景をよく見えるような工夫をしている。 人数に応じてパーテーションを使用するなど療育スペースの確保をしている。	一度に来所する人数が多い時には、見えにくくなる場合がある。 新型コロナウイルス対策として、保護者席にも仕切りを設けスペースの確保を行っている
②職員の配置数は適切であるか	3	2	利用者の人数に応じて適切に配置されている 不足はしていないがあと2人くらい職員がいるとよりよいと思う	法定で定められた人員の確保は行っている。また療育の内容などにより加配を適宜配置している。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	フラットな床、視覚情報の少ない空間になっている。 パーテーションを状況に応じてこまめに移動しています。	出来る限り資格情報の少ない環境の中で療育を行っている。また感染症対策として、適宜次亜塩素酸ナトリウムでの清掃を実施している。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1	机やいすの高さをお子さんに合わせて調整している。常に清潔な環境が保たれている。	子どもの発達や成長に合わせた環境設定を行っている。また感染症対策として、適宜次亜塩素酸ナトリウムでの清掃を実施している。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	ケース会議の実施。 日々の業務の合間、定例会等において改善点が話されており、かつ記録を残すよう努めている	支援計画の作成、更新時にはケース会議を開催しスタッフそれぞれの視点から目標設定について意見をもらうようしている
⑥保護者等向け評価表(アンケート)により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	回収率を上げるため、保護者に声掛けを実施 ハッピーテラス通信開始 保護者アンケートは職員全員目を通して	今年度よりSMS(ショートメッセージサービス)を運用開始し、一人でも多くの保護者の声を拾うため、アンケートの回答率を強化している
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	スタッフに、必ず回答する旨が伝達されています。 HP上に公開されており、結果を保護者にも通知している	教室内で、自己評価及び保護者向け評価表の結果のフィードバックを行っている。また、毎年2月にホームページに公表している。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	定期的に第三者評価を受審している	令和元年度第三者評価を受審。3年毎に受審を実施していく予定。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	職員間での研修、区での研修参加 職員持ち回りで研修等実施しているほか、社内研修などが用意されている	毎月持ち回りで職員研修を実施。また、区など外部で開催の研修についても適宜参加している
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	6	0	保護者に丁寧にヒアリングしている より細かいアセスメントが必要と感じる ケース会議が適切に実施されている	今年度より、ケース会議を3か月ごとに開催。児童発達支援、担当スタッフだけでなく、教室スタッフ全員の視点を共有している。
⑪子供の適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	共通のアセスメントツールが必要と感じる 事業所内で統一されたアセスメントツールは利用していないが、医師の診断書や各種発達検査を精読し、支援に反映させている	体験時にアセスメントシートを保護者に記載してもらっているが、定期的には実施できていない。今後、内容や期間について検討が必要
⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	6	0	園の連携、ご家族へフィードバックを通して関わり方について相談に乗ったりしている 3か月ごとに達成できる具体的な課題を設定している	就学相談や家庭での過ごし方、保育、幼稚園との訪問連携など、保護者の困りごと相談ごとにそれぞれ支援をさせていただいている。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	保護者からのヒアリングと利用者の様子をよく観察して計画しています 職員間で会議の時間を設けている	定期的に支援計画について評価を行っている。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	利用者の情報をスタッフで共有することに努めています 先生たちで意見を出し合いながら活動内容を考えている	集団トレーニングに関しては、月に一度、個別トレーニングについては都度、スタッフ全員で共有する時間を作っている。
⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	6	0	あえて固定化している場合もあるが、達成度を見て内容を変更している 本人の特性など、必要に応じてプログラムの継続・変更を検討されている	3~6か月月に一度支援計画の見直しを行い、療育の内容についてもケース会議で精査している。
⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	6	0	子どもの状態や保護者ニーズを勘案したうえで、適宜保護者に必要性も伝えながら両者のバランスを取るよう心掛けている	それぞれのアセスメントや課題を基に集団、個別トレーニングを必要に応じて織り交ぜながら活動に参加してもらっている。
⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	授業前の10分間授業共有時間を設けている 個別指導であっても内容の共有は可能な限り行われている	毎日トレーニング前には共有する時間を設けている
⑱支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	6	0	日誌を他職員に打ってもらうことで共有している 集団は記録を残す際に共有を行っている	トレーニング終了後その都度、支援日誌等で共有している
⑲日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	社内システム等を活用し、適切に記録、評価を実践している 支援日誌に詳細を記入し、改善点を明らかにしている	日々のトレーニングの内容、支援日誌に関する評価など記録は、支援日誌に記載している。
⑳定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	必要に応じて、見直し時期でなくとも変更等を行っている	3か月から6か月に一度の支援計画の見直し前にケース会議を開催し、支援についての評価を行っている。
㉑障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	各子どもの担当スタッフが出席することとなっている	感染症対策により会議の開催がされていないが、相談支援事業所へ、短信や支援計画を共有している。
㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	3	ニーズがあれば対応を行う	区立の児童発達支援センターや基幹センターなどと情報の共有を行っている
㉓移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	園へ訪問し、課題を共有しながら園内にて保育に持ち帰って活動している 未就学期の園等とは連携が取れているが、今後就学予定先の連携などもとれたいように感じている	保護者からの要望に合わせて、幼稚園、保育園への訪問や課題の共有を適宜行っている。
㉔移行支援として、小学校や特別支援学校(初等部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2		必要に応じて、就学支援シートなどの記入などを行っている。
㉕他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	必要に応じて、子どもが利用している他事業所等と連絡調整を行っているが、SV体制は確立できていない部分もある。	例年であれば、区のSV研修等に参加しているが、感染症対策により、今年度の実施、参加の実績はない。
㉖保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	幼稚園や保育園に通っている児童がほとんどなので、あまり必要ないかもしれませんが 事業所のサービスとして、障害のない子どもと関わる機会を提供することができるか疑問。また「障害の有無」という区分で利用者を選別することがむずかしい。	事業所へ通所する児童は、年齢による対象外以外全て保育園、幼稚園へ通園しているため事業所としての交流の機会が設けていない。

⑦協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	4	そういう機会がない子ども・家庭の状況に応じて参加をしている	児童発達においては、協議会の連絡会等の開催は実施されていない。今後地域交流は継続していく。
⑧父頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	フィードバックの時間を大事にしている利用後、また適宜保護者と子どもの様子を共有するよう努めている	フィードバックや面談、保護者懇談会などで課題の共有などを行い、トレーニングの内容に組み込んでいる。
⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	4	現在行っていない専門性の担保、実施するうえで必要な体制整備がとれるか疑問	自宅での過ごし方などへのアドバイスや、レスパイト的な受け入れを実施しているが、実践的なものは実施できていない。
⑩運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	契約時、また適宜説明を行っている	契約時に詳細の説明を行うとともに、教室内にいつでも閲覧できるようにしている。
⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	保護者の要望を踏まえて立案するよう心掛けていますヒアリングの上保護者同意のもと作成されている	契約時、更新時に支援計画についての説明を行っている。また、自宅での
⑫定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	必要に応じて面談や園連携の促しを行っている	定期的に、保護者からの相談ごとについて共有を行い、適宜幼稚園、保育園への訪問を実施している。また、メールなどを使用し相談に応じている。
⑬父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	年長対象の保護者交流会を実施している	就学に向けた、保護者懇談会を実施。今年度より年中児を対象にした懇談会も実施予定
⑭子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	社内でも適切な対応フローが設けられている	感染や、苦情、虐待など必要な体制を整備するとともに、契約時や掲示などでアナウンスしている。
⑮定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	ハッピー通信を毎月発行し、トレーニング内容やハッピーテラスでの取り組みについて保護者に共有している。	令和2年5月より、ハッピー通信を刊行しホームページに掲載している。また、SMSにて保護者へ共有している。
⑯個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	書庫のカギを徹底して行っている個人情報の取り扱いはできていると思うが、認識を高めたい	個人情報、全て同じ書庫に鍵をかけ保管している。また、データの保存などについてもサーバー管理を徹底している。
⑰障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	視覚支援などを使いながら伝わりやすい方法で意思の疎通を図るようにしている	児童に対して、聞く以外にも分かりやすい視覚提示などを行っている。また、保護者へもメール等電話連絡だけではなく文章で情報伝達するように努めている。
⑱事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	コロナのため今年度は難しい今後地域との協働やイベント参加なども検討する	地域の町内会への所属はしているが、コロナの影響で地域活動等への参加は出来ていない。次年度以降検討を進めていく。
⑲緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	4	マニュアルはあるが保護者への周知はしていない部分がある訓練はできていない	保護者周知は出来ていない。訓練については、来年度より順次開催予定。
⑳非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	3	授業内での避難訓練を実施職員向けの訓練はまだ実施していない保護者様と一緒に来所されているので、必要性を高く感じていない	トレーニングに盛り込んだ避難訓練を実施している。今後、消防署等に講習依頼をし救急、災害等訓練を実施予定。
㉑事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	1	緊急連絡票に記載、体験の電話対応の際に聞いている体験の時点で確認するよう徹底している	緊急連絡票を契約時以降、毎年4月に更新している。アレルギー等を含め詳細について記載してもらっている。
㉒食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	重篤なアレルギーを持つお子さんがいないので指示書までいただいている	トレーニング中の飲食等は行っていないため、医師の意見書等の共有はされていない。緊急連絡票への記載のみとなる。
㉓ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	ヒヤリハット報告を提出し共有するフローが確立されている簡易化した書式にしてヒヤリの件数をあげる方がよいと思う	年度末に一年間のインシデントについて教室会議で検討を行っている。
㉔虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	定期的な研修が確保されている	定期的に研修等を実施している。また12月に虐待防止のセルフチェックを実施
㉕どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	身体拘束の方法や頻度についても保護者様に相談させていただいている保護者に対し十分な理解を得られるよう努めている	定期的なケース会議を実施し、身体拘束の必要性などについて教室内で協議を行っている。また、身体拘束が一時的なものであるよう協議を継続している。